

ようがの学び舎 世田谷区立京西小学校
学校運営委員会だより



平成 27 年度 第 9 号
ようがの学び舎
世田谷区立京西小学校
学校運営委員会
委員長 真鍋 和裕

謹賀新年

今年も京西パワー全開！

3 学期が始まりました。久々の積雪で都内の交通網は大混乱でしたが、子どもたちはいつもと違う雪景色に大喜びのようでした。雪解け後の校庭では、子どもたちが元気にマラソンに励んでいます。寒さに負けない元気な京西の子どもたちです。

1 月 16 日(土)、今年最初の運営委員会が開催されました。年度末に向かい、学校では 1 年のまとめにとりかかると同時に、新年度の準備も進めています。4 月から新 1 年生を迎える準備も着々と進んでおり、来年度もたくさんのお新入生が入学する予定です。また、11 月に実施した学校関係者評価の結果と、それに基づいた評価委員会からの提言書が踏まえた提示されます。提言書に基き、次年度の学校運営方針を定め、教育環境の更なる改善に結び付けます。この他、図書室運営体制の強化



街で見かける石標のなぞ

用賀の街のあちこちで、右の写真のような石標を見かけたことはありませんか？お寺や神社、お地蔵さまなどの脇に建っていることもあれば、玉川村村長邸や用賀名主邸跡地、東条英機元首相邸跡地など、なかなかマニアックな場所にもこの石標が建っています。



これらの石標は、今から約 30 年前、玉川地域活動団体連絡協議会、略して「地団協」の方々が玉川地域の名所旧跡に建て始めたもので、約 180 個所にあります。「てたくぶっく」と呼ばれるガイドを見ながら旧跡をめぐり、拓本を取れるようになっています。全部で 5 コースに分かれており、最初に兵庫島コースが整備され、等々力溪谷、九品仏、駒沢公園と続き、平成 10 年に用賀・馬事公苑コースが整備されました。秋の「ふれあいラリー」では、子どもたちが拓本を取りながら、史跡めぐりを楽しんでいます。

京西小学校のそばにある庚申塔にも、石標が設けられています。この庚申塔は、1740 年、庚申の年に建てられたそうです。よく見ると、台座の部分には「見ざる、聞かざる、言わざる」の三猿が彫り込まれています。委員長挨拶でも触れられていますが、今年も申年。お近くを通った際には、じっくりご覧になってください。



(司書の配置)や、放課後学習支援の実施なども検討してまいります。

学校運営委員長 真鍋和裕

新年のご挨拶を申し上げます。昨年は学校運営に関し皆様のご協力を頂きましたことに御礼申し上げます。

本年は申年。さる年と言えば、日光東照宮の「見ざる・聞かざる・言わざる」の三猿は有名ですが、埼玉県の秩父神社にはそれとは反対の「よく見る・よく聞く・よく話す」の逆さ三猿があります。この三猿、お元氣三猿とも言われているそうです。

今年はこの逆さ三猿のように、世の中をもっと「見て」「聞いて」「きちんと話して」、さらにはハーモニーも大切に自分でありたいと思いました。本年も引き続きよろしくお願い致します。



ようがの学び舎 用賀中学校



3 年生 受験に向けて一直線

いよいよ受験シーズン。3 年生は最後の追い込みに励んでいます。校長先生や副校長先生を相手に、面接の練習も実施。本番さながらの緊張感の中、志望理由や将来の夢など、自分の言葉できちんと表現できるように、何度も練習しました。



14 歳の成人式

子どもから大人への過渡期にいる中学 1 年生に、自分の生き方を見つめ、学校生活を豊かにしてもらおうと、区内各校代表の 2 年生がメッセージを送る「14 歳の成人式」が行われました。大人に一歩近づいた実感が沸いたのでしょうか、聴衆の 1 年生も背筋がピンと伸びていました。



学び舎地域清掃

1 月 26 日(火)は、学び舎の地域清掃の日でした。朝、通学路に落ちていたゴミを拾いながら登校し、街をきれいにする。道路にはタバコの吸い殻がたくさん落ちていたそうです。子どもたちも恥ずかしくないよう、大人も反省しないといけない、と声をかけました。



ようがの学び舎 教科部会

1 月 8 日(金)、3 学期の始業式が終了した後に、学び舎 3 校の先生が用賀中学校に集まり、教科部会と 3 部会(生活指導、特別活動生徒会指導、心と体)が開かれました。小学校と中学校の先生同士が連携し、「世田谷 9 年教育」を進めています。



おはよう！ コミュニケーションデー



1 月 14 日(木)と 15 日(金)は、今年度 3 回目の「おはようコミュニケーションデー」でした。とても寒い朝でしたが、用賀中学校の校門では、京西小学校や用賀小学校の児童が立ち並び、中学生に向かって大きな声で挨拶しました。京西小学校の校門でも、登校している児童を中学生が出迎え、元気に挨拶を交わしていました。通学路に立って、子どもたちに声をかけてくれる保護者や地域の方々もいらっしゃいました。平成 16 年に始まったこの取り組みも、既に開始から 10 年以上が経過し、今ではすっかり用賀の街に定着しました。これからもこの取り組みを継続し、大人も子どもも気持ちよく挨拶を交わせる、明るい街にしたいものです。



今月の 運営委員

運営委員
金子倉一



校舎が新築され 5 年。地域と一体となり明るく元気な子ども達が学ぶ伝統ある学校になりました。先生方も地域の方と町で挨拶を交わす。校舎内を歩いていると先生、父兄、児童と挨拶の音が返ってきます。気軽に足が向き、多くの行事を見て体験できる学校は、地域のシンボルとなっています。また、多くの卒業生を持つ京西・用賀の学び舎は、児童達と学校の絆を思えます。これから学校、地域を支える多くの人達の輪が、京西のパワーとなっていくと思っ



このコーナーでは、11 名の運営委員が毎月交代でコメントを掲載します。

〜あとがき〜

毎年、年賀状を書いていて思うのは、1 年の過ぎるのが早く感じることも、1 年の最前、干支が一週して 12 年たつと、申年だったのにもう 12 年もたつていたとは…。子どもの頃は、毎日が刺激の連続で、1 年がとて長く感じました。これをとるとはこういふことなのか。たこれからの一日一日を大切に過ごしたいからです。

(広報担当 白根・青木・古市)